

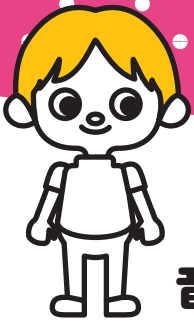
言語聴覚士

必要な国家資格

言語聴覚士

言語聴覚士の魅力

これまで使っていた言葉がわからない、自分の意図した言葉を発声できない、相手の言っている言葉が理解できないなど、ことばや聴力に障害を抱えると、不安や、もどかしい気持ちになります。だからこそ、訓練により発声や言葉での伝達が、たとえ一言でもできるようになることは大きな喜びです。それらの障害を持つ人を支える言語聴覚士は、患者さんと喜びを共有し、患者さんやそのご家族と一緒に、自立、社会復帰への道のりを進んでいく、かけがえのない仕事です。ことばの障害は、脳機能の問題に起因することが多いため、原因により症状の出方も様々です。患者さん個々のパーソナリティもふまえ、一人ひとりに合わせたプログラムを考えなければなりません。リハビリの仕事であると同時に、創意工夫し、想像して企画する力が求められることも、この仕事の面白さです。

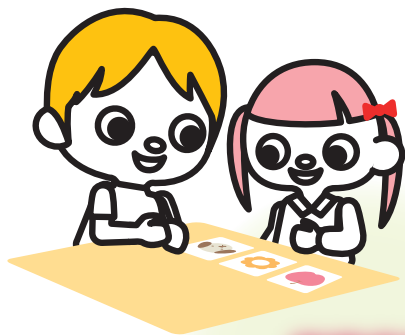


音声・言語・聴覚機能や摂食・嚥下^{えんげ}の障害に対し 専門的なリハビリテーションを行う言語聴覚士。

言語聴覚士は、ST(Speech-Language-Hearing Therapist)とも呼ばれ、音声・言語・聴覚機能に障害をもつ人に対して、機能回復のための練習や指導、検査を行う他、摂食や嚥下(えんげ)の障害に対しても専門的なリハビリテーションを行う専門職です。高齢化が進む現代、こうした機能・行為に問題を抱える人は年々増加傾向にあり、言語聴覚士に求められる役割は、今後ますます広がっていくでしょう。

言語聴覚士が携わる分野は広く、失語症、構音障害、言語発達遅滞などの言語障害、老人性難聴、小児聴覚障害などの聴覚障害、そして、ものを咀嚼したり飲み込んだりすることが困難になる嚥下障害など、「コミュニケーション」と「食事」に関わるあらゆる障害に対して練習や検査を行い、本人や家族に指導や助言を行うことによって改善を図ります。また、

こうした障害の原因は病気、加齢、先天性など様々であり、子どもからお年寄りまであらゆる人が対象となるため、医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの医療専門職、そしてケースワーカーや介護福祉士、教師、心理専門職など、いろいろな専門職との連携も必要になります。



医療分野

●大学病院、総合病院、専門病院、リハビリテーションセンター、診療所

保健分野

●介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問看護事業所、訪問リハビリテーション事業所

教育分野

●小中学校、特別支援学校、研究施設、大学

福祉分野

●特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、肢体不自由児施設、重症心身障害施設

言語聴覚士のおもな仕事

言語聴覚士が対象とする主な障害の種類と概要についてまとめました。

病気または事故により起こる言語障害	
機能性構音障害	医学的な原因がなく一部の発音が不正となることで、病気や麻痺、口の中の異状・けがなどと関係なく、幼少の頃より発現する発音異常、発音障害。
脳性麻痺による言語障害	受胎から生後4週までに何らかの原因で受けた脳の損傷によって引き起こされる言語障害。
<small>きつおん</small> 吃音	一般的には「どもり」と言われているコミュニケーション障害です。言葉が流暢に出ず、喋りにくさを特徴とします。
摂食障害	拒食症（神経性無食欲症）と過食症（神経性大食症）とを合わせて摂食障害と呼びます。
<small>えんげ</small> 嚥下障害	疾病や老化などの原因により飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる障害。

勤務体制

基本的に、就業時間が規則的で夜勤や当直はありません。また、病院や福祉施設など勤務先に保育所がある所も多いため、家庭や育児との両立が求められる女性にとっては、特に安心できる環境だといえます。このように、環境的な魅力や、仕事としてのやりがいと合わせ、結婚や出産などで休職する場合も職場復帰がしやすいことなどから、他の職業への離職率は非常に低く、一生の仕事として続ける人がとても多い職業です。

言語聴覚士になるためのルート



言語聴覚士国家試験の合格状況

	受験者数	合格者数	合格率	備考
第14回言語聴覚士国家試験合格状況	2,263	1,410	62.3%	1問1点(199点満点)とし、次の合格基準のすべてを満たした者を筆記試験の合格とする。 ●総得点 120点以上/199点
第13回言語聴覚士国家試験合格状況	2,374	1,645	69.3%	1問1点(199点満点)とし、次の合格基準のすべてを満たした者を筆記試験の合格とする。 ●総得点 120点以上/199点
第12回言語聴覚士国家試験合格状況	2,498	1,619	64.8%	1問1点(200点満点)とし、次の合格基準のすべてを満たした者を筆記試験の合格とする。 ●総得点 120点以上/200点